

平成30年度 第2回我孫子市放課後対策事業運営委員会 議事録

○日時平成30年10月9日（火）午前9時30分から午前11時まで

○場所我孫子市役所議会棟A・B会議室

○出席者＜委員＞

岡本伸一（委員長） 齋藤実 東竜一 伊藤千恵 坂手千代子 太田悟  
岸本光司 鈴木与志実 大塚美香子 清水かほる 鈴木幸子 並内千緒  
戸塚美由紀

＜放課後対策事業スタッフコーディネーター＞

佐藤裕美 速水睦子 小林まり子 森井貴美子

＜事務局＞

我孫子市子ども支援課 蛭原弘治 高橋晃 楠瀬尚城 本間康平

\* 議事録作成のための録音許可について（承認）

\* 傍聴について

\* 資料確認

1. 放課後対策事業の進捗状況について

（1）布佐小あびっ子クラブの利用状況について

（2）あびっ子クラブ登録料の改定について

2. 学童保育室及びあびっ子クラブの運営報告について

・我孫子第四小学校の近況

・我孫子第二小学校の近況

・湖北台西小学校の近況

・湖北小学校の近況

・布佐小学校の近況

3. あびっ子クラブの土曜日運営について

（1）あびっ子クラブ土曜日運営を検討することとなった経緯について

（2）あびっ子クラブ土曜日利用状況について

（3）土曜日運営について意見交換

#### 4. その他

##### 1. 放課後対策事業の進捗状況について

###### 【委員長】

それでは、ただいまから、平成30年度第2回我孫子市放課後対策事業運営委員会を開催いたします。お手元の次第に沿って議題を進めていきます。次第の1番目、放課後対策事業の進捗状況について、事務局から報告をお願いいたします。

###### 【事務局】

「(1) 布佐小あびっ子クラブの利用状況について」説明いたします。次第の「2. 学童保育室及びあびっ子クラブの運営報告」においても布佐小について、現場で働くスタッフからご報告がありますので、子どもたちの様子などはお任せするといたしまして、私からは、それ以外のところを簡単にご報告させていただきます。

布佐小あびっ子クラブの開設に当たり、昨年より学校、学童父母会、地域交流教室利用団体と協議を重ねてまいりました。あびっ子クラブの教室は、既存の地域交流教室と、隣接する準備室を改修工事することで整備を進めてまいりました。工事は、今年の夏休み期間に行いました。主な工事内容としましては、電気工事と建具工事を行いました。電気工事に関しては、既存の照明を照度の基準を満たすように付け替え、また飛散防止用の照明器具に変更しました。また、壁面備えつけの扇風機とスタッフ職員控え室への空調機器を新たに設置しました。あびっ子クラブで事務連絡など行うための通話環境が整っていなかったため、電話回線を新たに整備し、あわせて防犯警備システムも整備いたしました。

次に、建具工事です。まず初めに、既存の棚において、かなり塗装がはげていた箇所を再塗装しました。また、新たに子どもたちのランドセルなどの荷物を収納するロッカーを設置しました。

施設環境を整え、9月1日(土)に無事にオープンし、当日にはオープンを楽しみにしていた児童や学童保育室からの児童も遊びにきて、にぎわっていました。9月4日(火)には、市長にあびっ子クラブの様子を見に来ていただきました。9月20日(木)には、カブラの実演、お披露目会を実施しました。学童保育室にはない珍しい遊具ということもあり、当日は学童保育室からの多くの児童も参加して大変盛り上がりました。

10月1日時点の登録児童数は、布佐小全児童数の47%となる97名で、地域サポーター

には7名の方が登録しています。布佐小あびっ子クラブの地域交流教室は、平日の朝は吹奏楽の練習、平日の夜、週末の夜は、地元のお囃子やひよっとこの団体が利用しています。

今後も、学校や学童保育室などと連携しながら、地域に根差した運営を推進していきます。

以上です。

#### 【事務局】

続いて、「(2) あびっ子クラブ登録料の改定について」説明いたします。第1回の運営会議で、あびっ子クラブの登録料の改定について説明させていただきました。本日出席の委員の中には前回の会議を欠席されてしまった方もいますので、簡単に改定に至るまでの経緯について説明させていただきます。

平成21年度から登録料を500円として運営してまいりましたが、あびっ子クラブと学童保育室の一体的な運営を進めていくに当たり、各小学校にあびっ子クラブが順次開設していきましました。今年9月1日の布佐小あびっ子クラブの開設を最後に、市内全小学校へのあびっ子クラブの開設が完了しましたが、運営費が年々増加している状況です。

このような状況から、昨年、全小学校の保護者を対象に、「あびっ子クラブ登録料にかかるアンケート」を実施し、その結果と、受益者負担の考えから、登録料について精査を行いました。結果として、平成31年度から登録料を1,000円にすることとなりました。

今回の第2回の会議では、前回の会議から今までの経過報告と進捗状況を簡単に説明させていただきます。

まず初めに、あびっ子クラブの登録料改定に伴い、「我孫子市あびっ子クラブの設置及び管理に関する条例施行規則」の改正を行いました。改正内容は、主に登録料の1,000円の改正と、申請様式の文言等の修正を行いました。11月1日から市ホームページや『広報あびこ』で登録料改定の掲載を行っています。10月より順次実施予定の新1年生を対象とした就学児健診の場を借り、あびっ子クラブのしおりを配布しています。また、担当職員による説明もその場で行い、周知の機会を設けています。

「あびっ子クラブのしおり」については、登録料を1,000円と変更し、新たに開設した布佐小あびっ子クラブの問い合わせ先等も追加しております。

10月1日には学校長会議が開催されました。その中で報告事項として、登録料の改定について子ども支援課職員から説明させていただきました。併せて新2年生から新6年生になる今の1年生から5年生を対象に、登録料改定のお知らせ文書の配布を依頼し周知させていただきました。

昨年度の運営委員会の結果を受けまして、登録料を改定するとなった際に理事者より「登録料を上げるのであれば、準要保護世帯も減免対象者に含めるか否かを検討するように」と指示を受けており、検討してまいりました。第1回の会議において、登録料免除対象者について検討を進めていくとして皆様に報告させていただいたところですが、前回会議終了後6月14日(木)に、検討結果を踏まえた上で理事者協議を実施し、検討結果を報告しました。

検討結果として、①既に学童入室している児童及び生活保護受給世帯は、登録料が免除されていること。②登録料を年間1,000円と改定したが安価であること。③準要保護世帯を減免対象に加えて年間の収支を算出すると、登録料を1,000円と増額したにも関わらず収入減少が見込まれてしまうということ。以上の3点を踏まえ、今回登録料改定の目的の主たる理由であった施設の増加によるあびっ子クラブの運営費の増加を緩和するという点と受益者負担の視点からも、登録料を上げた意味がなくなってしまう旨の説明をいたしました。結果、減免対象に準要保護世帯を加えるのは適当ではないということで報告し、理事者からも理解を得たところです。

以上で説明を終わらせていただきます。

#### 【委員長】

ありがとうございます。布佐小あびっ子クラブにつきましては、部屋を整備しながらも、地域の方や、学校のクラブ活動と連携しながら1つの教室をうまく使っているという状況の報告と、登録料につきましては、皆さんに平成29年度からご審議していただき、実際に保護者へアンケート調査をした結果、保護者のご意見ももとに、ご意見の中で一番多い1,000円としていくことになったという報告でした。

ただいまの説明につきまして、何かご質問等がありますか。

(質問なし)

## 2. 学童保育室及びあびっ子クラブの運営報告について

それでは、次第の「2、学童保育室及びあびっ子クラブの運営報告について」まず、我孫子第四小学校の近況について報告等をよろしく願いいたします。

#### 【四小コーディネーター】

我孫子第四小学校のあびっ子クラブと学童保育室の近況について報告いたします。第四小学

校では、第一学童が現在69名、第二学童が現在69名が入室しています。学童ではこの夏、独自に夏祭りなどを行いました。現在はプラ板の製作やカレンダー作りなどを行っています。

あびっ子クラブは、現在561名の登録があります。平日は、大体30名から50名程度の参加、夏祭りなどイベントがある日は、80名から100名程度の参加があります。授業参観後の保護者会があるときなどは、120名を超える参加がありました。チャレンジタイムは、サポーターの方々にサポートしていただきながら、月1回、将棋やパターゴルフ、けん玉の他、月2回の囲碁などがあります。その他に、いじめ防止のための本読みや工作などを行っています。

振替休日の1日保育などに対しては、サッカー教室やジャグリング教室を講師を招いて行っています。10月22日のバザー振替日では、サッカー教室やフラダンス教室の実施を予定しています。一体型ということで、あびっ子クラブで企画したチャレンジには、場所の関係で人数を制限することもあります。学童保育室の子どもたちも読んで、みんなで一緒にチャレンジしています。

以上です。

#### 【委員長】

ありがとうございます。ただいまの報告の中で、ご質問やご意見等がある方はいらっしゃいますでしょうか。

(質問なし)

続きまして、我孫子第二小学校の近況についての報告をよろしくお願いいたします。

#### 【二小コーディネーター】

二小のあびっ子クラブと学童保育室の様子を報告いたします。二小は、10月1日現在、学童保育室の在籍人数45名、あびっ子クラブの登録数は250名です。今年の夏休みは猛暑でしたので、市主催のけがの対応研修の時に教えていただいた熱中症指数計を学童で購入し、外に出て大丈夫なのかを確認しながら校庭に出るようにしていました。しかし、残念ながら、バザーの鳴る日が多く、夏休みの長い時間を室内で過ごすことが多かったです。

学童保育室では、夏休みの制作として布の手さげバッグにマジックで絵や模様を描き、自分だけの素敵なバッグをつくりました。また、プラ板やスライムも人気で、飽きずに遊んでいます。麦の会やおはなしの会の方には、楽しいお話や不思議なお話をたくさんしていただき、

興味津々、静かに聞き入っていました。

子どもたちが一番楽しみにしている夏休みのイベント「お楽しみ会」では、自作の割りばし鉄砲で射的をして点数を競い合ったり、輪投げやスーパーボールすくい遊びました。最後には、学童スタッフや子どもたちでつくったかき氷を笑顔いっぱい満足そうに食べていました。

あびっ子クラブでは、チャレンジの工作として7月はストローモビールをつくり、風が吹くとゆらゆらと揺れて涼し気でした。8月にはストローロケットをつくりました。とてもよく飛ぶので体育館で飛ばしたかったのですが、熱中症指数計の警報ブザーが鳴ってしまい、室内で飛ばすことになりました。それでも大変盛り上がりました。ストローロケットは、リベンジとして今月にも予定しており、今度は広々とした体育館で飛ばしたいと思っています。また、浮沈子を昨年に引き続きつくりました。ペットボトルに水を入れて、その中に重りをつけたタレ瓶を入れて、側面を押すと中の魚がゆらゆらと上下に動くものなのですが、つくる前から楽しみにしている子が多くて、ペットボトルに海の中の絵を上手にかいて、その中をお魚がゆらゆらと動く作品をうれしそうに眺めていました。それから、牛乳パックを使い、おうちの貯金箱をつくりました。好きな模様の折り紙を貼って、かわいい窓を描き、お金を入れる切れ込みとお金を出すかわいいドアをつければ完成です。いつでも工作は子どもたちに人気です。スライムをあびっ子でも夏休み中2回行い、多くの子どもたちが、ひんやり、とろんとした感覚を楽しんでいました。

最後は、学童保育室と合同で外部の方を呼んでのマジックショーを開催しました。この方は、老人施設などでも行っているということで、音楽にあわせてトランプやルービックキューブ、ひもなどを使ってのマジックに、子どもたちは目を見開いてくぎづけになっていました。ストローを使ってのマジックのやり方を教えてもらい、楽しそうにみんなでやりました。

暑くて長かった夏休みでしたが、大きなけがをする子どももなく、無事に過ごせたのでよかったです。

最近の様子をお伝えします。学童保育室では、ほぼ毎月その月生まれのお誕生会をしています。先月のお誕生会で、誕生月の子どもたちに「将来の夢は何ですか？」とインタビューしたところ、お医者さん、歯医者さん、保育園の先生、博物館で働く、市役所で働く、プロサッカー選手など、すばらしい答えが返ってきました。一人ひとりが答えるたびに、子どもたちからは応援の拍手が沸いて、スタッフも感動しました。外遊びでは、女の子は一輪車、男の子はサッカーや野球が人気です。

あびっ子クラブの最近の様子ですが、画用紙でつくる立体的でつるすことのできるハロウィ

ーンのカボチャやドングリにトトロの顔を描いたものを乗せシーソーのように動くトトロドングリをつくっています。先ほどお話ししましたストローロケットもつくり、体育館で飛ばす予定にしています。

それ以外にもけん玉や囲碁、カレンダーづくりなども毎月行っています。室内遊びとしては、パズルマットを使っておうちをつくってのおままごと遊びや、カプラを自分の身長よりも高く積み上げて遊んだり、レゴでこまをつくって、回る時間を競争したりして楽しそうに過ごしています。

以上です。

#### 【委員長】

ありがとうございます。ただいまの報告につきまして、何かご質問等がありますか。

(質問なし)

それでは、湖北台西小学校の近況についての報告をお願いいたします。

#### 【西小コーディネーター】

おはようございます。湖北台西小学童保育室とあびっ子クラブの状況をお話しします。10月1日現在、学童保育室40名、あびっ子クラブ登録人数は195名です。4月の頃に比べると夏休みが明けて、学童保育室を退室していく高学年の子どもたちが何人もいましたので、大分減りました。

夏休みはとても暑くて、外で遊べる状況ではありませんでした。寒暖計を外に出すと、50度を超えてしまいます。それを子どもたちに見せて、「やっぱりこの状況では遊べないよ」と子どもたちに説明していました。最初はあびっ子クラブに来ると「今日は何時に外に出るの」と聞く子どもも多かったのですが、後半では言わなくなってしまいました。夏休みは7月のうちは子どもも大分来ていましたが、8月に入ってから子どもたちの数が急に減りまして、来るメンバーはいつも同じになりました。

あびっ子クラブで夏休みにやったことは、毎年恒例ですが16ミリの映写会です。7月の夏休みになってすぐの1週間、生涯学習課からお借りして開催しており、学童の子どもたちも来て、楽しかったです。私が20年前にこの学童の仕事についたときからある『トイレの花子さん』というフィルムを毎年使っているのですが、映像がびりびりになっていたり、音も調子悪いのですが、子どもたちはこの『トイレの花子さん』が大好きで、毎日それを1回は見るという、

1週間でした。

その他、麦の会の方のおはなし会も来ていただいたり、お話し散歩の方に来ていただき影絵も実施しました。工作教室としましては、毎年来ていただいているサポーターの方にストローロケットを教えていただき、子どもたちも簡単にできて、とても喜んでいました。

8月には学童保育室と合同の消火訓練をしました。天候は良くなかったですが消防自動車と救急車に来ていただき、自分で水消火器を使って火を消す訓練を実施することができました。

土曜日は、学童保育室とあびっ子クラブの合同保育ということで運営していますが、実際にはあびっ子クラブの利用児童はおらず、学童保育室の子だけの保育をやっている土曜日というのが多かったです。あとは外遊びができなかった分、学童保育室の子どもたちは、夏休みにあびっ子クラブへ毎日のように来てにぎやかに過ごしました。

学童保育室では、夏休みは紙コップの風鈴をつくったり、瓶の中に保冷剤を入れてその中にいろいろなビーズやスパンコール等を入れて蓋をするきらきらボトルをつくりました。きらきらボトルはとてもきれいで、瓶には絵をかいたり、色を塗ったりして楽しみました。他にも万華鏡作りはとても評判でした。

誕生会では、名前入りのパンをパン屋さんに注文し、それをお誕生会のおやつにしました。子どもたちは、自分の名前が書いているパンを食べるということで、とても喜んでいました。

夏休みの後半になり、子どもたちも疲れが溜まってきたせいか、ものすごく咳込んであびっ子クラブに来る子どもがいました。そういう子にはマスクを出してあげたりしますが「すごく咳が出ているから、お家で休んでいた方がいいんじゃないの？」と言うと、子どもたちは自分は来たくないんだけど親が行ってこいと言って、それで来ているお子さんも実際にいました。あびっ子クラブはそういう子どもたちの受け皿にもなっているのかなと思いながら、今年の夏休みを過ごしました。

以上です。

**【委員長】**

ありがとうございます。ただいまの報告につきまして、ご質問等はございますか。

(質問なし)

続いて、湖北小学校の近況についてよろしくお願いたします。

**【湖北小コーディネーター】**



おはようございます。あびっ子クラブと学童保育室の様子をご報告させていただきます。あびっ子クラブは、今年で3年目になりました。現在210名の子どもたちが登録しています。5月からは1年生があびっ子クラブを利用できるということで、50名以上の子どもたちが遊びに来ていてくれて、とてもにぎわっていましたが、現在は、平均して大体30名ぐらいの子どもたちが来ています。1年生の利用が多く、2年、3年、4年生ぐらいのおさんは2、3名ずつ毎日利用しています。女の子が多くて、段ボールでつくったおままごとセットで遊んだり、レゴでつくったお城に、同じレゴでお姫様をつくってお姫様ごっこをしたり、スズランテープで三つ編みをつくったりしています。スズランテープでの三つ編みは最近徐々に上達してきて、スズランテープを割いて何本かにして、ミサンガをつくる子もいます。カプラでコースをつかってビー玉を転がして遊ぶということもしています。他には塗り絵がとても好きで、昨年までは塗り絵を塗ってうまくいかなかったりすると、ぽいごみ箱に捨ててしまい、名前が書いていなくて誰のかわからなかったものが多かったんですが、今年からは、部屋にある壁のところに台紙を貼って、塗り絵を飾ってあげるようにしました。すると、すごくそれがうれしかったのか、とても上手に塗ってくれるようになって、また貼ってと、何枚も描いてくれる子が増え、お部屋も明るく楽しくなっています。

チャレンジタイムでは、あびっ子の碁とカレンダー作りを始めました。地域のサポーターの方から色々とお声がかかりまして、月に1回のお琴や学童保育室前の部屋の和室を利用させていただいてお茶を月に1回行っています。子どもは工作も大好きなので、サポーターの方による工作も月に1回行っています。

今年度からバルーンアートという風船を膨らませて、いろいろな形にして遊ぶチャレンジタイムが増えました。今はネズミや剣、犬を作っています。とても子どもたちが楽しみにしており、たくさん来るので、作ることで精一杯になってしまいますが、少しずつ落ちついてきたら、そのつくったもので遊びにも広げていきたいというサポーターさんからの声をいただいています。

このように、あびっ子クラブでは子どもたちが少しでも楽しく過ごしていただけるように工夫しながら過ごしているところです。

学童保育室は、今年20名と少ない人数だったため2人体制で、あびっ子クラブも今年から2人体制なので、合計4人のスタッフで見守りをしています。人数は少ないのですが、色々な個性なおさんが多く、突然キレてしまう子や外へ飛び出していってしまう子もいます。校庭を使う時には、あびっ子クラブと学童保育室のスタッフが一緒に子どもたちの見守りをして

いましたが、1人の子がそのような状態になってしまうと、他の子の見守りができなくなってしまいます。ただ、学童保育室とあびっ子クラブの部屋が隣同士なので、いろいろと子どもたちの情報をお互いのスタッフが共有して、子どもたちがとにかく安全で安心して過ごせるようにを第一に、協力し合って保育をしています。

以上です。

**【委員長】**

ありがとうございます。ただいま湖北小学校の近況についてのご報告をいただきました。ご質問等がありますか。

(質問なし)

それでは、最後に、今年9月1日にあびっ子クラブがオープンしました布佐小学校の近況についての報告をよろしくお願ひします。

**【布佐小コーディネーター】**

布佐小では、7月まで私たちの勤務は学童保育室勤務で、8月からあびっ子クラブ勤務になりました。それを機に異動もありましたのでとても忙しい夏休みでしたが、学童保育室は、通常26名プラス夏休み短期生16名の入室がありました。その16名も、元々通年利用だった子が夏休みだけ利用しており、とてもぎやかでした。新しく来たスタッフは、8月から名前を覚えなくてはいけない状態だったのでとても大変でした。スタッフ5人で一生懸命運営し、大きな事故もなくできたことは、とてもよかったと思います。

夏休みは、消火訓練も実施しました。消防署の人に来ていただいて、水消火器を子どもたちも体験し、いつもにぎやかな子どもたちがとても真面目に取り組んでいたことが非常に印象的でした。また、1週間ごとに工作を決めて、エコバッグ等いろいろ作りました。その中でも一番簡単なスライムがとても人気で、毎日のように1個ずつ作っている子もいました。

今年は暑くて外に出られない日が多かったです。子どもたちは外に行きたがるので、朝出勤し時計についている温度計を外に置き、それを子どもに見せないと納得してくれない状況でした。ほとんど外には行けなかったのですが、吹奏楽部の練習がない時間の地域交流教室を活用して子どもたちが遊べる時間を設けていました。冷房がついていても汗びっしょりになりながら、小さいやわらかいボールでドッジボールを楽しめたのでよかったと思います。

あびっ子クラブは9月1日(土)にオープンしました。台風が来ているときで天候も悪かつ

たですが、無事オープンしました。学童保育室の子たちも利用してくれて、無事1日が終わり、大人もサポーターの方も来てくださり、和やかに過ごせました。

その次の週からは少しずつ利用してくれる子どもが増え始め、今まで布佐南小のあびっ子クラブを利用していた子どもたちもいるので、利用方法も慣れている子が多くいました。やっと来られると、楽しみに待っていた子どもたちもいました。9月4日に市長が見に来てくださり、子どもたちと遊んでくれたり、話をしてくれたり、忙しい中、一時間くらい滞在してくれました。校長先生と教頭先生も一緒にいらしてくれて、子どもたちと一緒にいろいろお話をしながら楽しんでいただきました。

布佐は歴史のある町なので、公園もたくさんあり、子どもの中には雨の日はあびっ子クラブ、晴れの日には公園で遊ぶという子もいます。また、なかなかお友達とうまく遊べないという子たちは1人で来て遊んでいきます。支援学級の子も多く来ています。小学校の先生も時々顔を出してくれて、ちゃんと遊んでいるかなと見に来てくれています。通常の利用児童数は20名から30名ぐらいと、登録人数の割には遊びにくる子は多い状況です。

また、見守りのサポーターが現在7名います。毎日2名ずつぐらいに来ていただいています。今のところはまだ外遊びには出ていないのですが、20名、30名ではもったいないぐらい部屋が広いので、こっちでカプラをやり、あっちでけん玉をやりと、たくさんのことのできる場所になっています。

チャレンジは毎月文房具をつくってみようかなと思っています。低学年の利用が多いので、少し簡単なものから始めていきたいと思っています。

以上です。

#### 【委員長】

ありがとうございました。ただいまの布佐小学校の近況について、何かご質問等がありますか。

(質問なし)

学童保育室は1年間を通しての利用のほかに、夏休みの短期の利用という子も受け入れており、短期生だけでも児童数は大きく増えます。布佐小は特にあびっ子クラブのオープンなど、いろいろな準備があつて、大変だったと思います。また、今年の夏については、かなり熱中症の心配があつたということでしたが、いろいろ予定されていたチャレンジタイムなど、熱中症

予防の関係で予定の変更や中止としたことはありましたか。

**【委員】**

月に1回、校庭でグラウンドゴルフのチャレンジタイムを実施していますが、今年はサポーターの方から「今日はやめておきましょう」「明日はやめておきましょう」という電話をいただき中止にしたことがありました。

**【委員長】**

ありがとうございます。今年の夏は特に暑かったということで、予定しても外でできなかったとか、体育館で遊ぼうと思っても、体育館は冷房がないので、冷房のある教室での実施に変えたという学校も多かったと思います。市長も、布佐小に顔を出した時には、基本的に省エネよりは、子どもの具合が悪くならないように十分気をつけて、エアコンが必要であればしっかりつけて、子どもの体調管理をお願いしたいということをおっしゃっていましたので、皆さん、今後ともよろしくお祈りします。

**【委員】**

前に少し戻りますが、二小は熱中症指数計があつて湖北台西小にはないという話でしたが、その機械というのは高価なものなのですか。

**【事務局】**

価格に幅があり、安いもので2,000円ぐらい、高いものだと数万円する物まであります。他から聞いた話だと、2,000円の物は1回落としてすぐ壊れたという話でした。

**【委員長】**

学童保育室もあびっ子クラブも学校の中で活動しているところが大半ですが、学校には設置してありますか。設置していれば、連携して情報交換ができれば良いと思いますが。

**【委員】**

体育館には設置してありますが室外は温度をはかって判断して、あとは気象庁のデータを参考としています。

**【委員長】**

ありがとうございます。他にご意見等がありますか。

(質問なし)

### 3. 放課後対策事業の進捗状況について

それでは、次第の「3. あびっ子クラブの土曜日の運営について」まず、事務局から説明をお願いします。

**【事務局】**

それでは、「(1) あびっ子クラブ土曜日運営を検討することとなった経緯について」説明いたします。

“あびっ子クラブが開設されたのが、平成19年6月の我孫子第一小学校で、学区内の小学生であれば誰でもいつでも利用してよい形で平日及び土曜日についても運営をしてきました。毎年、あびっ子クラブの利用状況について集計をしていますが、近年の土曜日あびっ子クラブ利用児童数が減少傾向にあることから、平成29年度の放課後対策事業運営委員会でも検討事項として挙げさせていただきました。

昨年度、平成29年度土曜日の運営利用状況を報告させていただき、平成29年7月より、ここ1年間で利用児童数が全くいなかった布佐南小あびっ子クラブの土曜日を一時閉室といたしました。

また、昨年の放課後対策事業運営委員会であびっ子クラブの登録料改定の検討をしました。平成21年度から学童保育室とあびっ子クラブの一体的な運営を始めていくことにより、あびっ子クラブの開設準備に伴う工事費やあびっ子クラブが増設していくことによる人件費の増加等であびっ子クラブの運営費が年々増加傾向にあります。適正な受益者負担の考えから、公共サービスの費用負担をどこまで必要とすべきか、適正な負担を常に確保していかなければならないことから定期的に金額を見直す必要があるという考えから、検討の結果、登録料を1,000円へ引き上げることになりました。

この委員会でも皆様からさまざまなご意見をいただきました。

このような状況下で、あびっ子クラブに係る経費のスリム化が必要になってきています。その一つとして、地区により児童の利用数は異なりますが、平均して極端に少ない土曜日のあびっ子クラブの運営を本委員会で検討していきたいと考え、議題として提案させていただきました。先ほどコーディネーターの報告にもありましたとおり、実際に利用が少ないのが現状です。昨年度より布佐南小を一時的に土曜日閉室という形にして以降、前回の会議から今回の会議までの間に事務局で調査した結果をご報告させていただきます。

資料4をご覧ください。平成26年度からの1年毎の土曜日の利用人数を抽出したものです。平成26年度の一小の4月を例に見ますと、一番左の数が月の合計参加人数23人、その隣の

数が学童保育室の子があびっ子クラブに来た人数で5人、一番右の数がその差で純粋なあびっ子クラブに来た児童数18人となります。下段の第一、第二、第三、第四は年度を四期に分け、ひと月平均算出した数値になります。その下には年度での“ひと月平均”と“一日あたり”数値を算出しています。“一日あたり”の数値についてはひと月に土曜日が4回あると仮定し、“ひと月平均”を4で割った数値となります。平成26年度の一小で大体5.3人があびっ子クラブに来ています。そのうち1.1人が学童保育室の子で、純粋にあびっ子クラブに遊びに来た子は4.2人となります。全体的に見ていただくと、かなり人数が少ないことがわかると思います。

では、平日はどのくらい来ているかといいますと、地域や学校規模や登録児童数によって異なりますが、1校当たり平均大体30人の利用があります。そのうち学童保育室の子どもが平均約8人となります。比較してみてもかなり少ない状況です。平成29年度を見ましても、10人を超えているところがほとんどありません。布佐南小を一時的に閉室したということと、布佐小がまだ開室したばかりで実績がないことを考慮し、一日あたりの平均人数をさらに学校数で割り返しますと、1校あたり土曜日は大体4人の利用という状況です。

資料3をご覧ください。あびっ子クラブの土曜日利用理由調査を実施した集計結果になります。純粋にあびっ子クラブに遊びに来た子どもに、「今日はどのようにして遊びに来たの？」と実際に口頭で確認を行いました。「親が仕事だから来た」という子どもが約4割、「純粋に遊びに来た」という子どもが約6割という結果でした。ただ、先ほどコーディネーターから報告があったとおり、正直この約6割の中には、「親に言われたから来た」や「雨が降っているから来た」という子も含まれていると思われます。

実際、布佐南小のように利用数が極端にゼロということであれば、閉室とすることもできるころではありますが、少なからず子どもたちがいる状況です。ただ、あびっ子クラブは、あくまで自由に来て自由に帰る場、遊ぶ場の提供、経験の場の提供になります。それに対して学童保育室というのは、就労等保護者が家庭保育ができない状況にある子どもたちをお預かりして安心安全に過ごす場です。現状からいいますと、あびっ子クラブが学童保育室の代わりになっているという現状は否めないと思っております。

あびっ子クラブがオープンしてから10年が経ち、オープン当初は新しい遊び場ができたということで、子どもたちもたくさん集まっていたのですが、子どもたちの放課後の過ごし方もかなり様変わりしていると考えられます。土曜日には塾や習いごと、スポーツクラブで子どもたちが集まらなくなっている状況になりつつあります。

事務局といたしましても、より効率的に運営できればと思い、子どもたちが集まらない土曜

日の運営よりも、平日を充実させたほうが良いのではないかと考えております。

今の学童保育室は、土曜日保育は予約制で、予約がない時には閉室としています。予約があった場合でも午前中にお迎えに来れば、それで学童保育室は閉室にしています。あびっ子クラブは5時まで開いてますので、子どもたちが誰もいない場合でもスタッフは5時まで出勤している状況です。開室から5時まで誰も来なかったという日も多々あります。例えば、あびっ子クラブに子どもたちがいない日を、学童保育室と同じように閉室という対応ができれば、その分を子どもたちが多い平日の労力に充てられるのではないかと考えております。

今すぐという訳ではありませんが、事務局といたしましては、布佐南小のように一時的に閉室も視野に入れ運営を見直したいと考えております。しかし、土曜日しかできないチャレンジタイム等があれば、必要に応じて開室することもありうると思っております。ただ、土曜日を閉室するにしてもきちんとした手続が必要になってくるところですが、現時点ではまだ関係課等に話しておりません。この場では事務局としては「土曜日の閉室」を提案させていただき、これに対する皆様の率直な意見をお伺いしたいと思います。

以上です。

#### 【委員長】

ありがとうございます。非常に重要なお話ですので、委員の皆様の率直なご意見をお伺いできればと思います。この運営委員会では今後の運営方針の見直し等について話し合いを行い、それをもとに市長等に報告したいと考えています。実際にあびっ子クラブが今年で全校13校設置が完了し、常設型として運営するうえで経費がかなりかかっている中で、あびっ子クラブのスリム化が求められています。そうした中で、土曜日の利用がかなり少ないという現状で、全てのあびっ子クラブを土曜日閉室にしてしまうのか、一部を閉室にするのか、その他の方法を考えるのかと、それ以外の意見も含め、お一人ずつお伺いしてよろしいでしょうか。

#### 【委員】

昨年度の会議でもこの件で発言させてもらいましたが、参考程度にお話しいたします。

湖北地区公民館でも土曜日は人が集まりません。去年、土曜日は月一回チャレンジランキング、チャレンジを実施していました。土曜日はあまりにも子どもが来なくて、職員3名で待っていたらある雨の日はゼロ人でした。ボードゲームの団体が市民プラザで活動していると聞いて見に行き、関連する団体を土曜日にお呼びして実施しましたが、参加者は数名でした。

やはり土曜日のイベント実施は難しいなと思い、今年は実施を思い切ってやめました。代わりに川村学園女子大学と協議をして、教育学部2年生の授業の一環ということで「寺子屋コホ

ミン」を実施することにしました。3年生になって教育実習に行く前の経験として、コホミンの第3学習室で学生が楽しくお勉強を教えるというものです。すると保護者も熱心に来てくれて、毎回20名ぐらいは来てくれるようになりました。今ではリピーターもいますので定期的で開催しようと考えています。この事例は「遊びだと子どもは来ないんだな」という印象をこれまでに感じるが多かったので、思い切って手法を変えた1つの事例です。

もう一点は、「コホミンの夏休み」というシリーズで、8月2日から5日で「小学生宿題お助け教室」を実施しました。チラシを7,000枚印刷し校長会で趣旨を説明後、13校の小学校にチラシを全児童数分配布しました。子どもの宿題をお助けしますという趣旨のもと、先生方には市内の現役の先生方や川村学園女子大学の学生さん、先生を目指している学生さん等に依頼しました。参加者数は、2日（木）が45名、3日（金）が45名、4日（土）が14名、5日（日）が23名と、土日が大人数来ると思っていたのですが、土曜日が一番少なかったです。ご協力いただいた先生方も土曜日は用があるとの理由で極端に少ない状況でした。この結果を踏まえ来年の夏休みの「小学生宿題お助け教室」は土日に開催しないこととしました。休館日を除く平日4日間で開催予定です。

結局、開催しても人が集まらないと待っているスタッフのモチベーションが下がってしまうのも事実です。したがって湖北地区公民館として1つは、遊びからお勉強に目的を変え女子大生の需要にも合った内容にする手法、もう1つは、思い切って土日はやらない手法をとる決断をしました。このように土日も運営している公民館としても、特に土曜日の利用は少ないという実感があります。

以上です。

#### 【委員長】

ありがとうございます。あびっ子クラブについては、登録しておけば自由に来て自由に帰って利用できることになっていますが、鍵をあけて準備をするなど必ず職員は在中しています。先程意見があったように利用者が少ないのであれば、思い切って閉室することも今後考えていく必要があると思います。

順番にご意見をお聞きしていてもよろしいですか。

#### 【委員】

学童保育室の父母会代表で出席しております。よろしく申し上げます。

個人的な考えになりますが、待っているスタッフのモチベーションが下がってしまうというのは、とてもよくないことだと思います。まずはそこを考えないといけないと思いました。先



ほだのご意見でもあったように、前向きに企画運営していくことが実現できれば、とてもすばらしいと思います。居場所づくりというあびっ子クラブの趣旨から考えると、すごく大きな一歩になると思うので、現状をどのようにしていくかを考えることが最優先だと思いました。

学童保育室に関しては、保育料をお支払いして預かっただくという保護者の立場と、あびっ子クラブに関しては、自主的に子どもが行けるという、その大きな違いがあるので、その違いから考えて、来年度からあびっ子クラブの登録料が1,000円に上がるというタイミングも考えると、今すぐではなくても土曜日を閉室とするタイミングも少し考慮が必要かと思いました。1,000円に上がったのに土曜日閉室なのというような意見も出て来るのではないかと思います。

先ほどコーディネーターの方から、学校によってもあびっ子クラブの内容が違うことに聞いていて気付いたんですけども、土曜日利用については、すぐこうしたらいいという意見が正直まだまとまっています。全く利用がないということではないにしても、運営費増大の現状と子どもの減少を考えて、いずれは縮小していく方向が妥当なのではないかと思います。

以上です。

**【委員長】**

ありがとうございます。

**【委員】**

最近の児童は、いろいろなことを土日にやっている様子が見られます。私どもの個人的なこととも土日の夕方からしか動けないという状況です。ですので、子ども達も土曜日にはあびっ子クラブとかに行く時間がないのかなと思います。土曜日は運営しなくてもいいのかなと思います。

**【委員】**

3月まで四小のコーディネーターをしていました。今は他の学校や四小のサポーターとして学校を回らせていただいています。コーディネーターをやっている時は、まだオープンしたばかりで土曜日の利用が結構ありました。保護者の方がお家にいても、あびっ子に遊びに来るといふ子どもたちが多く、四小は土曜日でも開室していた方が良かったと思っていましたが、今は減少傾向にあります。現在は保育園のお手伝いにも行かせていただいたりしていますが、保育園のお友達から土曜日に預けるお子さんが減っていると聞いています。やはり土日は保護者の方と過ごして、平日の放課後に子どもたちがあびっ子クラブを利用してくれるのが、スタッフも、お子さんも充実するように思います。

## 【委員】

一小あびっ子クラブのコーディネーターをさせていただいております。今年で3年目になりますが、一小は、初めの内は土曜日も多くの子どもたちが遊びに来てくれていましたが、ここ3年で急速に減少しています。子どもが1人だけという日や来ない日もあります。午前中に少し来て2人であびっ子クラブで待ち合わせして、プールに行くからと帰ってしまう子もいました。やはり子どもたちも土曜日が忙しく、英語に行って、プールに行って、ピアノに行って等、土曜日にまとめて習い事をやっている子が非常に多いと感じています。また、サッカーや野球のスポーツクラブで忙しいので来られない子もいます。土曜日に開室していても、誰も来なかったり、1人だけしか来なかったり、少しだけのぞいて帰ってしまったり、開室している意味がないと思うことも多く寂しく感じます。

サポーターの方が、土曜日に子どもたちが楽しみにできるようなことをしたいと思っても、やはりサポーターの方も土曜日はお忙しい方も多く、土曜日に設定することはほとんどできていない状況です。ですから土曜日の運営については、閉室という形を前提に考えていったほうが良いのではないかと考えております。

以上です。

## 【委員】

皆さんと同じ意見ですけれども、ただ、一度に全部閉めるという事には、少し抵抗があります。例えば開室時間を短くするとか、隔週開室にするとか、段階を踏んだ方がいいと思います。例えば金曜日が祝日で、土曜日が普通の日で学校は休みの場合でも、あびっ子クラブは開いていると思います。そのような休日に挟まれた時の土曜日あびっ子クラブは閉室にするなど、試験的に閉室するのも良いかと思います。また、土曜日の開室時間を3時や2時と少し短くする方法もあるかと思います。

## 【委員】

学校に子どもが行っている平日の放課後と土日ははっきり分けたほうが良いと思います。私が市内のある学校での教頭時代に、あえて土曜日に授業参観を実施したことがあります。そしてたら少年野球のチームがたまたま勝ち進んでいて、被ってしまったことがあります。どちらを選ぶといたら、全員が野球でした。時代の流れとして、あの時から土日は家庭に帰す、地域に帰すと言っていましたが、学校教育活動でさえも子どもは選びませんでした。ただ、そういう中で時代の流れとともに居場所というものをつくりはじめ、一小到初めてあびっ子クラブができたときは私も一小到在籍していましたので、とてもありがたかった記憶があります。流山

の先生からは「我孫子市はいいよな。」と、当時はあびっ子クラブが先駆的で周りからも好評でしたが、今は今の時代の流れがあります。そう考えると、私は実態に即した対応を今後は検討したほうが良いのではないかと思います。

以上です。

#### 【委員】

土曜日の利用ということについて、意見ということではなく、感想しか言えませんが、先ほど意見があったように、人が集まらないのであれば、集まる方法をとれば良いと考えます。あびっ子クラブは文科省の学校・家庭・地域連携事業の1つですので、目的があります。ですから、あびっ子クラブの方針に従って実施せざるを得ないとは思いますが、ただ、保護者や子どもたちのニーズで考えた場合、単なる遊びだけでは難しいのかなと思います。夏休みは学習支援として学校支援地域本部でもやっていますが、学習となると人も集まります。このようなニーズをもう少し考えても良いかと思えます。また、土曜日、日曜日というのは、他にも子ども達の受け皿があると思えます。結果として、そちらのほうへ流れてしまうんだと思えます。

資料の数値を見てこんなにも利用が無いものだと思いました。それぞれのあびっ子クラブの実態も違うと思えますので、一律に閉室にするとかということとは言えないと思えますが、もう少し実態やニーズを把握してから方針を出していけば良いのではと思えます。

以上です。

#### 【委員】

私は、昨年度まで布佐南小学校に勤めてまして、その時には布佐南小学校のあびっ子クラブは既に土曜日閉室でした。布佐南小学校では、土曜日に施設開放で体育館や校庭を一般団体等に開放していますが、あびっ子クラブで土曜日の午前中は優先的に使えるようになっていました。体育館も校庭も自由に使って良い状態だったにもかかわらず、全然子どもが来ないということを実態としてよく理解しています。

利用者が全くいないのに開室しているというのは無駄なことで、当時布佐南小あびっ子クラブの利用者はゼロだったこともあり、当然閉室で問題なかったと思えます。ただ、まだ利用者がそこそこいるところは、その利用者の意見なども聞いて、検討していくべきだと思います。

実際にあびっ子クラブの利用者は、圧倒的に低学年の子どもが多いです。ですから「〇〇は閉鎖するけど、□□は開室しているから、そちらへ行きなさい」と言っても、低学年では学区外まで足を伸ばすことは難しいと思えます。他の地域を利用するというのは小学生に難しいかと思えます。

以上です。

**【委員】**

近年の実態を知って、また、いろいろな意見を聞いて、今の段階では判断しかねるというところ。立場によりそれぞれ意見があり、保護者には保護者の意見があると思います。私には判断できないので、発言は控えます。

**【委員】**

あまり詳しくないのですが、あびっ子クラブが日曜日に開室していないのであれば、土曜日も閉室でもいいんじゃないかなと率直に思います。日曜日も開室していて土曜日も開室しているというのであればわかります。仮に日曜日に利用したい、遊びに来たい子がいたら開室するかという話にもなってしまうと思います。今は違うのかもしれませんが、私が子どもの頃は行くところがなければ、子どもは子どもなりに考えて遊んでいたというのが率直な感想です。

以上です。

**【委員】**

土曜日の閉室について、皆さんと同じような意見です。

以上です。

**【委員長】**

ありがとうございます。あびっ子クラブの土曜日の運営については、今後一斉に閉室ということではなく、利用している保護者や子どもの意見を聞き、段階的な方法で対応することは出来ないかという意見等がありましたので引き続き検討を行っていただきたいと思います。今、結論は出ないと思いますが、ご意見等がありますか。

(意見なし)

無いようですので、皆さんのご意見をもとに、事務局で今後の案を作成し、次回ご提示させていただきます。

#### **4. その他**

最後に次第「4. その他」です。次回の運営委員会の日程は、2月上旬を考えております。後日日程調整後、開催通知をもってご報告させていただくということでよろしいでしょうか。

(意見なし)

それでは、最後に、傍聴人の方、発言等があれば3分以内ということで発言できますが、いかがですか。

(傍聴人発言なし)

それでは、長時間にわたりましてご審議いただきまして、ありがとうございます。これもちまして、第2回放課後対策事業運営委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。